



第45回鉄構塗装技術討論会 開催予告と発表テーマ募集

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

- ・日時／会場：2022年10月20日(木)～21日(金)／市ヶ谷自動車会館2階大会議室
- ・協賛(予定)：(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会
(一社)日本鉄鋼協会 (一社)日本塗料工業会 (一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本防錆技術協会 (公社)腐食防食学会 日本塗装技術協会
(一財)日本塗料検査協会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■ 本討論会は土木学会のCPDプログラムに認定の予定です。

新型コロナウイルス感染症対策に対する基本的対処方針が見直され、防疫措置の緩和による経済社会活動の回復が期待される一方で、ウクライナ情勢は長期化の様相を見せており、食糧やエネルギーの供給が制約され原材料価格が高騰するなど、世界規模の景気後退が生じる恐れも指摘されています。このような状況の中においても、わが国では年々激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、引き続き防災・減災の取組みを強力に推進して行かなければなりません。

インフラ構造物は人々の命や暮らしを守り、社会・経済活動を支える重要な社会基盤であり、災害時にもその機能を発揮することが求められます。これらの多くは高度経済成長期以降に集中的に整備されており、今後、建設から50年以上経過する老朽化施設が加速度的に増加していきますが、老朽化によるインフラの機能不全を招かぬためには、平時から計画的に維持管理・更新を進めていかなければなりません。このことから、インフラ構造物の維持管理・更新の生産性向上や高度化、効率化に資する技術への期待はますます高まっており、鋼構造物を腐食から守る防食技術が担う役割は今後一層大きくなるものと思われます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会は、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように、鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。次頁の要領にて開催いたしますので、ふるってご参加くださいますよう、また、関係各位へのご連絡ともども宜しく願いいたします。

今年度も本討論会へ多数の御参加をいただきますよう、宜しく願いいたします。

実行委員長：富山 禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

発表テーマの募集について

■募集する発表テーマ

鋼構造物の塗装技術に関して、分野を限定しない広い範囲からの話題提供を歓迎いたします。文献紹介、研究ノート、経験データ（トラブル対策事例も含む）、ご意見などを各自でとりまとめてご発表ください。

■募集期間

2022年5月31日（火）～7月4日（月）

■応募後のスケジュール

- ・原稿執筆依頼……………2022年7月初旬
- ・発表原稿提出締切日……………2022年9月9日（金）
- ・参加申し込み締切日……………2022年10月11日（火）
- ・討論会開催日……………2022年10月20日（木）～21日（金）

■応募方法

発表をご希望の方は下記項目をご記入の上、ご応募ください。

FAX、郵送、E-mailのいずれも受け付けます。

- ① 題記……………『第45回鉄構塗装技術討論会発表申し込み』
- ② 発表題目……………和文の題目をつけてください。
- ③ 発表概要……………200字程度で概要を記載してください。
- ④ 発表者氏名……………連名の場合、発表者に○印を付してください。
- ⑤ 連絡先……………会社名・所属・役職・住所・電話番号・FAX番号・E-mail

※ 討論会当日は、発表20分＋質疑応答10分でプレゼンテーションしていただきます。

※ 発表には、パワーポイントをお使いいただきます。

■応募先

一般社団法人 日本鋼構造協会『第45回鉄構塗装技術討論会』係
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-8 アミノ酸会館ビル3階
TEL：03-3516-2155 FAX：03-3516-2152
E-mail：jssc-paint@jssc.or.jp 担当：横手、宇田川

<討論会の参加申込方法>

参加申込の方法および当日のプログラムについては詳細が決定次第、ご案内いたします。
(本年は、9月頃よりの参加の申込を開始する予定です。)

○討論会の参加費用（予定）（発表者も参加費用が必要です。）

1名につき

- ・会員（協賛団体含む）……………10,000円（消費税・発表予稿集代を含む）
学生・官公庁職員
- ・一般……………13,000円（ ” ” ）